

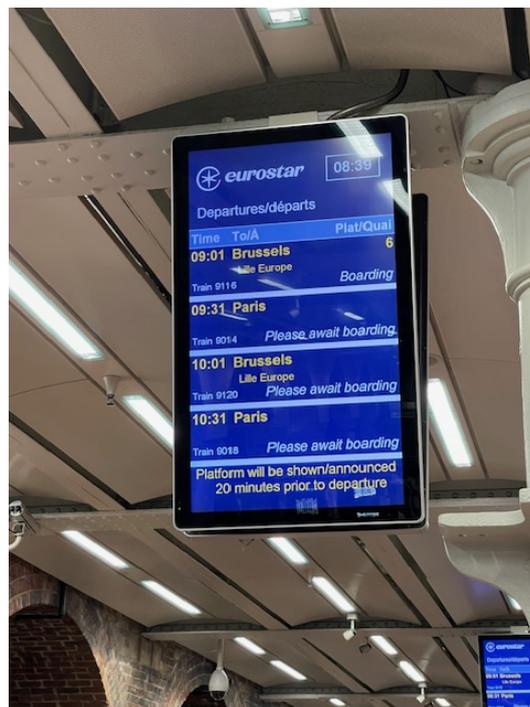
## 世界を知り尽くした 岡村龍哉

### 岡村 龍哉の宝石・健康紀行「フランス」編 (2024)

**ユーロスター** (英: Eurostar) は、ドーバー海峡トンネルを通過してイギリスとヨーロッパ大陸とを結ぶ国際列車である。

ロンドンとフランスのリール、パリ、及びベルギーのブリュッセルとの間で運行されており、**最高速度 300km/h** の高速鉄道となっている。2018年4月4日より、ロンドン発の1日2本のみブリュッセルからオランダのアムステルダムまで直通運転が開始された。

ブregジット後はイギリス国境を超える際、ロンドン・セントパンクラス駅（ハリポッターで有名なキングス・クロス駅と隣接している）で出国審査が必要だ。2時間15分の移動で**2024夏季パリオリンピック・パラリンピック**（2024年7月26日～8月11日、8月28日～9月8日）前の**フランス**へ向かった。五輪前の開催都市を訪れるのは**岡村龍哉**の恒例で、表現し難い五感の刺激を受ける為に、前訪問は**岡村クリエイティブ発想のエネルギー源**だ。



『自由、平等、友愛』の国**フランス共和国**（面積：551.500Km<sup>2</sup>，人口：約**6800万人**）は国際政治、安全保障、経済、及び文化等に於いて世界的な影響力を持つ民主主義国家の大国先進国。

パリの**ユーロスター**発着駅である**パリ北駅**に到着



通貨はユーロ

10ユーロは=1750円前後

10年前は1350円前後だったので日本円の弱さを実感



シャンゼリゼ大通り

シャンゼリゼ大通りは凱旋門からコンコルド広場にいたる総距離1910mの大通

り。ゆったりと広い歩道の両側にマロニエやプラタナスの美しい並木が続き、歩道沿いに高級ブティックやテラスを張り出したカフェが並ぶ【**世界一華やかな並木道**】と呼ばれる。**フランス革命記念日**（7月14日）のパレードやツール・ド・フランスのゴール、及びクリスマスの煌びやかなイルミネーションなどでも知られ、1年を通してツーリストやパリジャンたちの姿が絶えないパリきっての目抜き通りだ。2016年からは毎月第1日曜に歩行者天国が実施されており、普段は車が走っている通りのど真ん中を歩くことができる。



### エトワール凱旋門

**エトワール凱旋門**はシャンゼリゼ大通りの起点にあり、パリに着いたら最初に訪れたい場所。12本の大通りが交差するロータリー（シャルル・ド・ゴール広場）の中心にどっしりと構えるこの門は、まさにフランスの栄光の象徴。



**エトワールの凱旋門**と呼ばれるこの門は、1805年に起きたアウステルリッツの戦いの勝利を記念して建てられた。

この戦いでフランス軍は、皇帝**ナポレオン・ボナポルト**（1769～1821年、皇帝在位 1804～1814年、1815年）の指揮のもと、自分たちより1万以上多くの兵力を有するオーストリア・ロシアの連合軍を迎え撃ち、アウステルリッツでの死闘の末、劇的な大勝利を収めた。この大勝利を記念し、当時5本の大通りが集まっていたエトワール広場に、ナポレオンは大凱旋門の建設を命じた。



エトワールの凱旋門を設計したのは、建築家**ジャン・フランソワ・テレーズ・シャルグラン**（1739～1811年）。古代ローマのティトゥス帝の凱旋門をモデルに建設され、**高さは50メートル、234段の階段**を上りきると、パリ市内全体が眼下に広がる。1806年初頭に敷石が置かれたが、工事は遅々として進まず、壮大な門が完成したのは30年後、1836年。

1850年代半ばには、皇帝ナポレオンの甥にあたる**ナポレオン3世**（1808～1873年、第二共和政大統領在位 1848～1852/第二帝政皇帝在位 1852～1870）統治下でセーヌ県知事オスマンによるパリの都市改造が行われ、エトワール広場から延びる7本の大通りが新たに開設された。更に、建築家イトルフの設計による統一されたデザインの建築物が周囲を取り巻き、凱旋門とエトワール（シャルル・ド・ゴール）広場は現在の姿となる。

フランスの友人たちと話していると、独裁者である皇帝ナポレオンを好意的に受け止めている。時代の移り変わりとともに、人の評価は変わるもの。

**母からの教え**「批評する人間ではなく批評される人間に」を思い出す・・・

## カルティエ本店



## T君の勤め先



カルティエはフランスの高級宝飾ブランド。『Jeweller of kings, king of jewellers 王の宝石商、宝石商の王』（エドワード7世の言葉）と言われる名門ブランドである。

革製品、ライター、筆記用具なども扱い個人シナジービジネスを広げている。ちなみに、リシュモングループの傘下だ。

うん!?



2024年しかない光景

工事中の目隠しが・・・

広告宣伝に



ルイ・ヴィトン本店

誰もが知っている **LV マーク** のバッグ。パリの本店ではあらゆる種類の小物やバッグが揃っていて買い物客を満足させる。世界最大のフロア面積を誇る本店は品揃えも豊富で訪れたお客様を迷わせる。本店のみ日曜日にも営業している。



ルイ・ヴィトンが評価されるようになったのは、創始者であるルイが亡くなった後。ヴィトン社はまず『グリス・トリアノン・キャンバス』(Gris Trianon) というトランク工場として創始。このトランクは灰色のキャンバス地で覆われており、とても軽量なものであった。1854年、世界初となる旅行用鞆の専門店をパリ・カピュシーヌ通りに創業。1867年のパリ万国博覧会で銅メダルを獲得。1869年にはエジプト総督のイスマーイール・パシャが、1877年にはロシアのニコライ皇太子(後のニコライ2世)がそれぞれ、1セットのトランクを発注した。また、当時世界的に力を持っていたスペイン国王アルフォンソ12世からもトランクの注文を受けるなど、主にスラブ、ラテン系王侯貴族に重用された。



工事中用目隠しのモチーフバッグに共感して購入



横断歩道を越えた所に第 23 代フランス大統領  
ニコラ・サルコジ御用達のレストランへ



フランス料理は、トルコ料理や中華料理と並び世界三大料理と呼ばれている。フランス料理と聞くと【格式の高い高級料理】をイメージするが、フランスで発祥した様々な食文化の総称。

ちなみに、14 世紀のフランス料理の食し方はテーブルに並べられた料理を手掴みで食べていた。16 世紀になってイタリア料理の影響を受け、所謂、『フランス料理』の原型が出来上がり、今日では全世界で愛される料理と昇華していった。

農業大国であるフランスには、素材の味を活かした素朴な家庭料理から格調高い料理があり、このお店は後者になる。



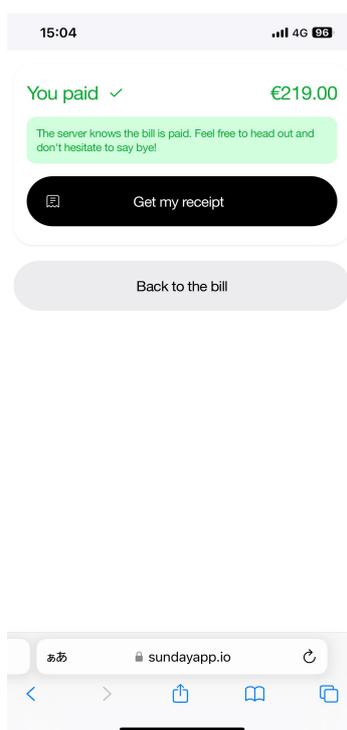
メニュー程度のフランス語は理解出来る・・・



余談だが、**岡村龍哉**⇨**シャンパン**は、フランスのシャンパーニュ地方特産のスパークリングワイン（ブドウの醸造酒）のみをシャンパンと呼ぶ。

キリスト教修道士ドン・ペリニオンが確立したと伝えられる瓶内二次発酵とアッサンブラージュと呼ばれる様々な原酒のブレンド、更にティラージュ及びドザーージュと呼ばれるシロップの添加に大きな特徴がある。歴史的にそれ以前の同じブドウの発泡酒ながら、白濁したのとは異なるオリを取り除く製法の確立によって、透明な発泡ワインとなって以来上流階級の好むところとなり、国際的に著名な酒の一種として現在に至る。

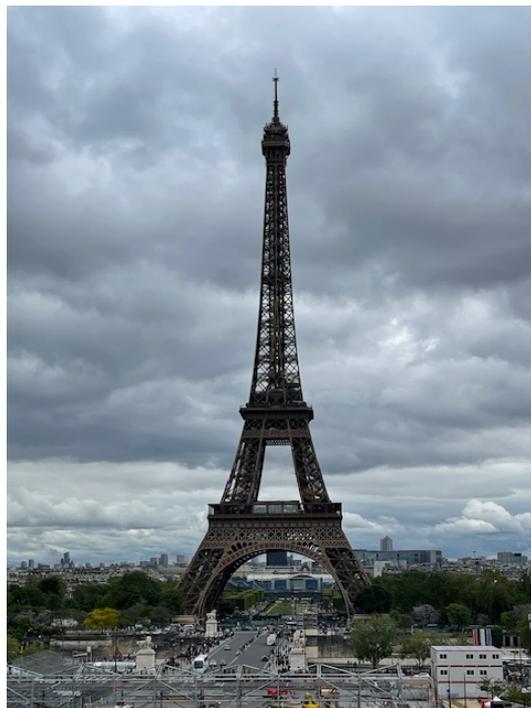
ちなみに、フランスのシャンパーニュ委員会(CIVC)はフランス語発音に近い  
シャンパーニュを用いることを推奨しており、フランス語を学んだ日本人は日  
常会話でも自然にそう発音するが、フランス語を話さない日本人の日常会話で  
はそのような発音はあまりしない。なお日本語の「シャンパン」も一応はフラ  
ンス語/*ʃɑ̃paɲ*/に由来する読み方であり、許容範囲である。  
尚、「シャンペイン」(英語：*/ʃæmˈpeɪn/*)は英語読みであり、主に英語圏で  
使用される。





## エッフェル塔

セーヌ川沿いに位置するパリのシンボリック存在の塔。1889年のパリ万博の目玉として、建築家ギユスターヴ・エッフェル（1832～1923年）によって設計された。当時としては最先端であり、炭素の含有量が少ない鉄である『錬鉄』を素材として使用したもの。1万8000もの部品を組み合わせ、高さ312.3mと当時としては世界最大の建造物であった（1991年に世界文化遺産登録されている）。



日本 と フランス の時差は-7 (サマータイム)  
つまり、日本が 19 : 00 の時にフランスは 12 : 00 だ。

フランスの気温は 1 年を通して穏やかな気温 (10~25℃) を保っている。  
フランス北部・西部は涼しく湿潤で、地中海の辺りは高温 (夏は 25~30℃)  
で乾燥しているのが特徴。

ちなみに、春から夏 (4~9 月) の間は降水量が少なく、寒い冬の時期に  
多くなる。



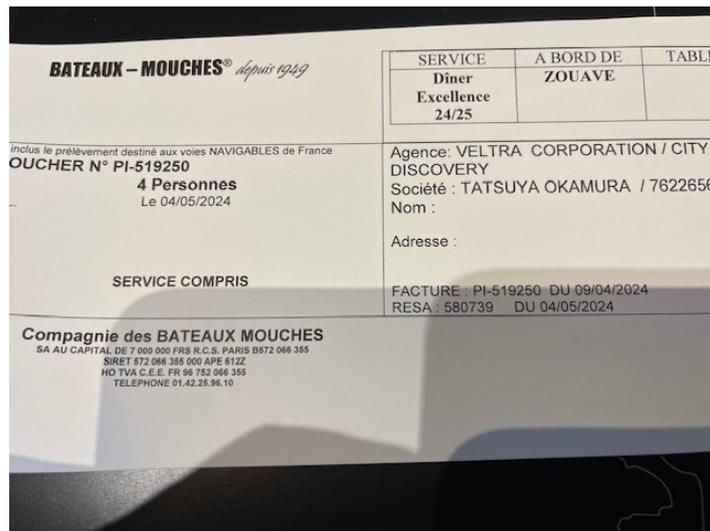
バトームーシュ



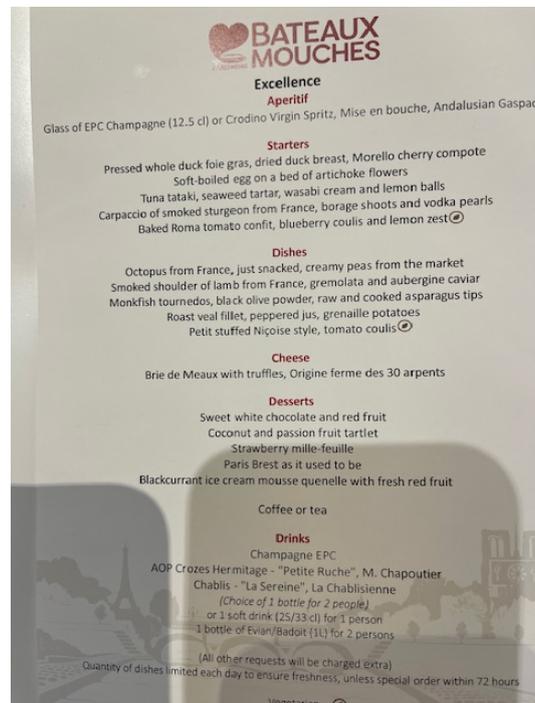
セーヌ川クルーズの代名詞的存在のバトームーシュ (Bateaux Mouches)。  
2024 年パリオリンピックの開会式会場となったセーヌ川の景色を贅沢な本格フ  
レンチディナーとともに楽しむのがルーティン。

ガラス張りの船内からはライトアップされたパリの街並みが堪能出来る。  
 毎時00分に点滅するエッフェル塔の『シャンパンフラッシュ』はいつ見ても素晴らしい。

ディナークルーズ料は 900€ ≒ 157,500 円



本格フレンチで世界三大珍味を一夜で食す  
 フォアグラ・キャビア・トリュフ



出発時の風景（19：00頃）



乾杯～！



共にディナークルーズを楽しみましょう



ゆったりとした時間が流れ・・・



**エッフェル塔**の設計者として知られるエッフェルは、ニューヨークにある自由の女神を作ったことはあまり知られていない。外観の設計は**フレデリク・バルトルディ**だったが、女神の構造設計を担当したのがエッフェル。

**自由の女神はアメリカの独立 100 周年を記念**して構想され、**1886 年**に完成してフランスからアメリカに寄贈された。エッフェル塔が建てられたのはその3年後の1889年。



ゆったりと **常若の恵**® <http://www.jo-magokoro.co.jp> を飲みながら過ごす幸せ。経営脳が鈍っているので、瞑想する。ビジネスで大切なのはどこに向い

て仕事をするかだ。

特に理念追求型経営者の岡村は、プライオリティを常に示す。つまり、

①お客様 ②取引先企業 ③スタッフ ④スタッフのご家族 ⑤地域・自治体  
⑥国・国際社会 ⑦株主 の順番だ。

ブレはいけない。この順序を間違えなければ失敗することはない。

あとは、**大胆細心** に当たり前のことを当たり前の順序で実行する **凡事徹底** で  
積み上げれば大なり小なり成功する。シンプルで難しいことはない。

さあ、**モンサンミシェル**へ



途中のドライブイン



パリ→モンサンミッシェルへは休憩しながらで約4時間30分



ようやく、見えてきた・・・



### モンサンミッシェル

モンサンミッシェルは、フランス西海岸サン・マロ湾上に浮かぶ小島、及びその上にそびえる修道院。ノルマンディー地域圏マンシュ県ル・モン＝サン＝ミッシェルに属する。カトリックの巡礼地のひとつであり『西洋の脅威』と称され、1979年には「モン・サン＝ミッシェルとその湾」としてユネスコの世界遺産（世界遺産 ID80/文化遺産）に登録され、1994年10月にはラムサール条約登録地となっている。

ちなみに、「塔の上のラプンツェル」のコロナ王国のお城のモデルでも有名だ。



主要部はゴシック様式だが、内部はさまざまな中世の建築方式が混ざり合っ  
て構成されている。教会堂はカロリング期の様式で、身廊はノルマン様式（11～  
12世紀）、百年戦争後の1421年に破壊されたロマネスク様式の内陣はフラン  
コウィアン・ゴシック様式（15世紀半～16世紀初頭）として再建された。これら  
周囲を13世紀の重層構造の修道院建築と13～15世紀の軍事施設が取り囲んで  
いる。ゴシック・リヴァイヴァル建築の鐘楼と尖塔は1897年に完成し、その上  
に奉られた剣と秤を持つ金のミカエル像は彫刻家エマニュエル・フレミエ（1824  
～1910年）によって製作された。深層部からは、岩山の上に幾層にもわたり建  
造され続けた建築遺構も残る。



## 路地裏のようなメインストリート

お店はツーリスト向けでリーズナブル価格帯が中心  
フランスの特徴でもあるがしつこい呼び込みや商談はない



日本とフランスの国交が開始されてから 166 周年。

2009年5月16日に、厳島神社の所在自治体である広島県廿日市市と  
モン・サン＝ミッシェル市との間に【観光友好都市提携】を結んでいる。

共通点としては①海に浮かぶ世界遺産であること②信仰の聖地として1000年以上の歴史があること③国を代表する観光地であることなどが挙げられる。

とてご縁を感じる地でもある・・・

## 有名なオムレツ

ふわっふわのビッグサイズのオムレツは、その昔、遠い遠い地から巡礼で訪れてきた人のお腹を満足させる為に考案された栄養満点の巡礼料理がルーツ。



旅は続く・・・

## 入城チケット



## 教会は天井が高くて心地良い



岡村再生理論の好評に応じて、**伴走型ハンズオン支援の初動**についてです。  
ハンズオン先で最初に着手すべきは①規約・規定の整理・Update、人事制度まで踏み込んだ整理・Updateだ。また、労働者の権利・義務を明文化し、使用者の責任を明確にする。

そして、労働法令やコンプライアンス規定、及び従業員就業規則等を Update し高らかにアナウンスする。

同時に、②企業の型を把握する。例えば、垂直統合型 or 水平分業型企業かを把握し、実態に即した型へ組織を改編する。忘れてならないのは③ハンズオン先の 1on1MTG の実施だ（各階層での実施）。

この①～③の 3 点セットが岡村龍哉の初動、初動結果を起点に本格的な組織改善・改革に取り組んでいく。

流石にここからは企業秘密となるので・・・



現実（現状）とあるべき姿・目指すべき姿とのギャップ埋めが再生事業計画とも言えるが、3年・5年予実計画はマイルストーンの置きとし進めるのが正攻法だ（あくまでバックキャストिंगで）。

落とし穴は、**浸透計画の未策定が多い**ことだ。スタッフ・ステークホルダーの腹落ち計画が浸透計画だ。この浸透計画が持続可能な成長の成否の鍵となる。

これもノウハウはあるが、ここでは差し支える・・・

余談だが、**組織改善・改革**という言葉が岡村はしばしば使用するが、この改善と改革について考察する。

**改善**とは、古い電車と線路を修復しながらラッピングトレインや値上げ、及びダイヤの効率化を通じて収益を改善することに例えることが出来、

**改革**とは、古い電車を売却し線路を取り換えて新幹線を走らせることだ。改善と改革にはこれほど大きな違いがある。どちらかを選ぶかは意思決定者のジャッジになる。



ちなみに、PLの改善には①トップラインの引き上げと②ワークアウトの2つのアプローチがある。

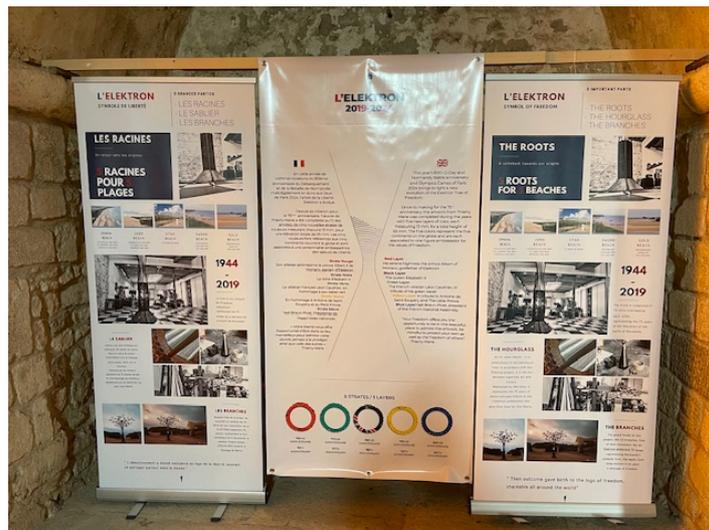


不健全・破綻懸念先企業の経営者は必ずと言ってよい程、PL改善には①を選択・主張する。

資質の乏しい経営者（経営者の資質指標は11ある）は新たにイニシャルコストを掛けてトップラインを上げようとする。一か八かの勝負を主張する。ビジネスはバクチではない。賭けるにしても、確率の高さと一緒にbetを主張するのであれば100歩譲って聞く耳は持つが、成功体験や見聞録だけでは話にならない（主張は数字に集約される）。トップラインを伸ばすにしろ、岡村流はイニシ

ヤルコストを新たに掛けずにランニングコストも増やさずに取組み始める。  
One-way Ticket ではなく **Return Ticket (Round-trip Ticket)** の発想が必要だ。  
そこには、3E（経済性 Economical/効率 Efficiency/有効性 Effectiveness）を  
念頭に進めなければならない。補完作業として事業 DD（主に定性的分析）→財  
務 DD（主に定量的分析）→インサイトによる仮説の妥当性を道しるべの一助と  
する。

②ワークアウト手法については機会があれば・・・



余談だが、日本人特有のステレオタイプはビジネスだけではなく人生に於いても除去しなければならない（岡村龍哉は生まれながらにして除去しているが・・・）。日本でビジネスをしていると何とステレオタイプが跋扈しているかと驚き続く。経済合理性で育った西欧人はステレオタイプが少ないので、非常に組み易くワクワクとしたビジネスへと繋がり易い。クリエイティブなビジネ

スには**ステレオタイプは邪魔にしかない**・・・

ちなみに、金融機関の要支援先企業さまの金融支援は、通常、リスケジュール（元本や利息の返済スケジュールの変更）から始まる。複数の金融機関が債権を保有している場合はバンクミーティング等を適時開催し足並みを揃えることが必要となる。

このリスケ期間に企業改善・改革の処方箋が功を奏しV字回復すれば、再生の最短成功例となる。リスケ期間は6~12カ月が常となるので、企業にとっては痛みを伴いながら相当な覚悟を持って健全化へ臨まなければならない。ここで、企業経営者の覚悟、資質、及び地域貢献等が問われる。つまり、本性がすべて露見する。あまり難しいことではなく、相当な覚悟を持って取り組んでいる場合は、期待をもって、リスケ期間に健全企業へ転換出来なくても次のステップの金融支援を受けることが出来る。**DES** (Debt Equity Swap) や **DDS** (Debt Debt Swap) などである。

一般的に中小企業再生にはDDS優先して活用するケースが見られるが、**岡村流は中小企業であってもDESを積極的に活用**する。理由は企業への株主・債権者としての影響力保持だけではなく（優越的地位の乱用には留意）株式保有割合に応じて、法的権利が得られるからだ。

例えば、3%超えの株式を保有（エンティティ・個人問わず）することにより、株主総会の議案請求権（会社法303条2項）と会計帳簿の閲覧及び謄写請求権（会社法433条1項）が認められ、1/3（33.4%）超えの株主（エンティティ・個人問わず）は、株主総会での特別決議を単独で否決する権限があり、1/2（50.0%）超えでは株主総会の普通決議を単独で可決する権限（会社法309条1項）を得る（→取締役の選任・解任等、企業的意思決定のほとんどを決めることが出来る）。更に、2/3（66.7%）超えの株主は、株主総会での特別決議を単独で可決する権限（会社法309条2項）が認められる。特別決議は○自己株式の取得に関する事項の決定○募集株式の募集事項の決定○事業譲渡（会社法467条1項）○合併や会社分割といった組織変更決定などである。

このように、持ち株比率が高まるにつれて、行使出来る権限が大きくなる。企業側から言えば、特別決議が行使出来る2/3超えの絶対安定株式を手放さないことだ。

DESやDDS（DDSは一般的ななので説明は割愛する）を実施しても健全企業（ebitdaマルチプル10年目途）へ転換出来ない場合は、金融機関の判断で債権の不等価譲渡や債権カットを伴う第2会社方式、スポンサー方式、及びファンド・サービサーへの売却などの救済 or 廃業・破産へ移行する。



余談だが、再生の現場でしばしば使われる ebit、ebita、ebitda、ebitda マルチプルについて触れておこう。ebit (Earnings Before Interest and Taxes) の略であり、計算式は  $ebit = \text{税引前当期純利益} + \text{支払利息} - \text{受取利息}$ 、ebita (Earnings Before Interest, Taxes and Amortization) の計算式は  $ebita = \text{税引前当期純利益} + \text{支払利息} - \text{受取利息} + \text{無形減価償却費}$ 、ebitda (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization) の計算式は  $ebitda = \text{当期純利益} + \text{法人税等} + \text{特別損益} + \text{支払利息} + \text{減価償却費}$  となるが、簡易的に  $\text{営業利益} + \text{減価償却費}$  で概算を出す場合が多い。

最後に、**ebitda マルチプルは企業価値を算出**する為に ebitda などの複数の指標を活用した評価方法で企業の収益力 (8 倍が目安) を測るベンチマーク指標であり、計算式は  $\text{企業価値 (EV)} = \text{ebitda} \times \text{マルチプル}$  により計算可能で、EV は  $\text{株式時価総額} + \text{純有利子負債}$  で容易に算出できる。



フランス共和国の**首都パリ**（面積： 105.4Km<sup>2</sup>，人口：210 万/都市部 1250 万人）

フランス最大の都市であり、同国の政治、経済、及び文化などの中心地。  
ロンドンと共にヨーロッパを代表する世界都市。ルーヴル美術館を含む1区を  
中心として時計回りに20の行政区が並び、エスカルゴと形容される。

### ルーヴル美術館



**ルーヴル美術館**は、パリにあるフランスの国立美術館。世界最大級の美術館（博物館）であるとともに世界最大級の史跡の一つで、パリ中心部1区のセーヌ川の右岸に位置する。

収蔵品38万点以上。先史時代から19世紀までのさまざまな美術品3万5,000点近くが総面積6万600平方メートルの展示場所で公開されている。



コレクションの一部は日本を含め海外へ貸し出されることも多い



世界でもっとも入場者数の多い美術館で、毎年 800 万人を超える入場者が訪れ、2018 年は初めて 1,000 万人を超えた。フランスの世界遺産であるパリのセーヌ河岸にも包括登録されている。

ルーヴル美術館は、フランス王（**尊厳王**の異名を持つ）**フィリップ2世**（1165～1223年）が12世紀に、もともとは要塞として建設したルーヴル城（ルーヴル宮殿）に收容されている。現在の建物にも要塞として使用されていた当時の面影が一部残っているが幾度となく増改築が繰り返されて、現在のルーヴル宮殿の建物となっている。



欲するが非売品



戦利品



## 時節柄

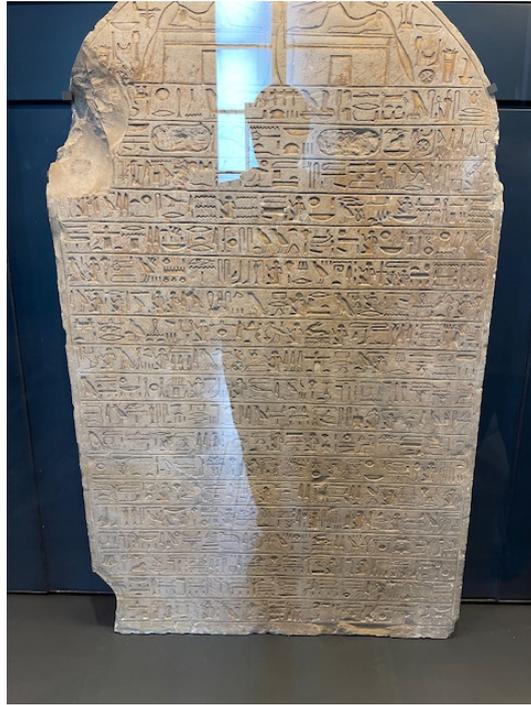


ルーヴル美術館は予約なしでも入場出来るが、**予約者が優先**される為、事前にチケットを購入しておかないと入場まで長時間待つ可能性がある。

館内は非常に広く鑑賞に多くの時間と歩行が必要な為、待ち時間が長いと更に疲れてしまう。

スムーズに入館する為にも、**事前にチケットを購入**することを強くお勧めする。

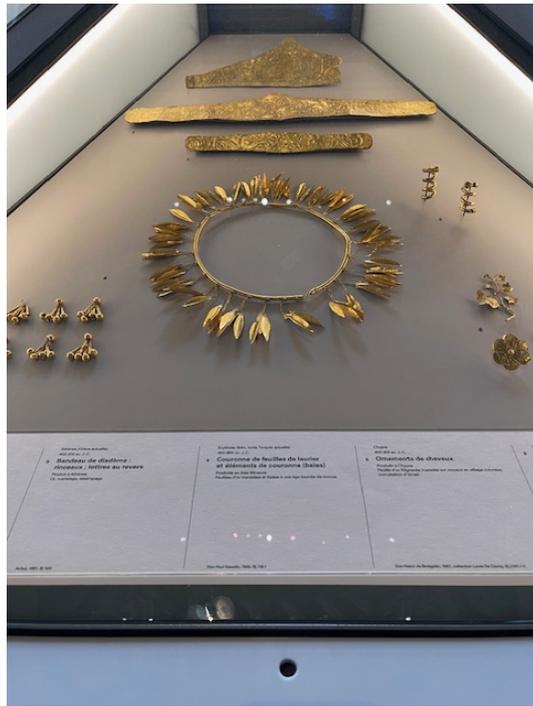




作品は国、地域別に展示されており、17世紀フランドル絵画、16世紀オランダ絵画、15～16世紀ドイツ絵画、17世紀フランス絵画といった具合

特にフランス絵画は質、量ともに充実





アメリカのメトロポリタン美術館、ロシアのエルミタージュ美術館とともに  
世界三大美術館の一つに数えられるルーヴル美術館

3~4日掛けて巡るのが良い



ブリンリンさが心地良い





『愛の国』とも呼ばれるフランス

将来恋愛現役の思想は素晴らしい

ざわざわ



やはり



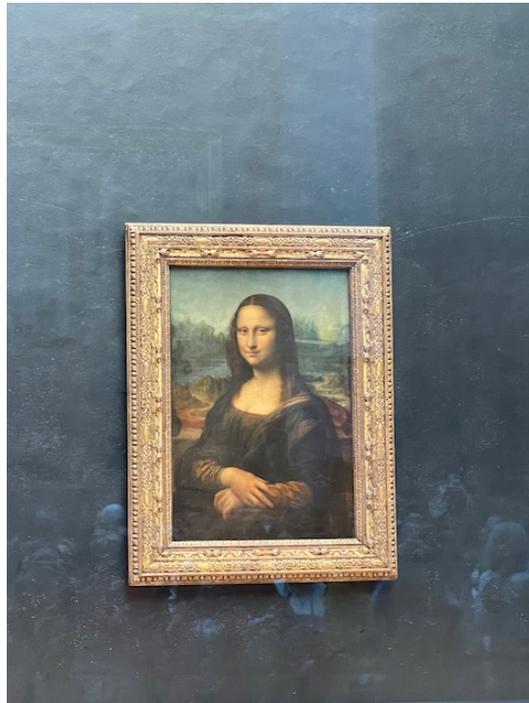
レオナルド・ディ・セル・ピエーロ・ダ・ヴィンチ (1452～1519 年)  
フィレンツェ共和国 (現在のイタリア) の 1503～1513 年頃制作  
(ポプラ版に油彩) の傑作

## モナ・リザ

### 感情の见えない不思議な微笑

肖像画でありながら背景は屋外である。「 sfumato（ぼかし技法）」と呼ばれる筆のタッチや韓郭線を残さない表現は丸みを帯びた女性の身体をより美しく見せている。

また、近くを明確に描き遠くを不明瞭に描く「空気遠近法」が用いられている。別名「ラ・ジョコンダ」と呼ばれる本作のモデルは、当時のフィレンツェの豪商であったフランチェスコ・デル・ジョコンドの2人目の妻リーザ・ゲラルディーニであるとされている。

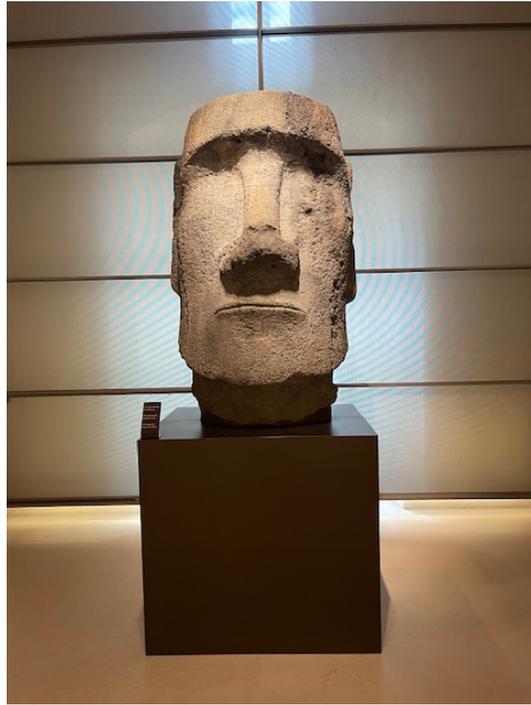


「世界でもっとも知られた、もっとも見られた、もっとも書かれた、もっとも歌われた、もっともパロディ作品が作られた美術作品」でもある。

年為ですが

もちろん

写真は**本物**



義を見てせざるは勇無きなり

当時から

今、再び

悲哀と歓喜



自信家で、自分と自国が大好きなフランス人は、自国の文化や歴史に誇りを持っていてヨーロッパの中心はフランスだと考えている。



たとえフランス語が出来なくても、どんな場面でも  
まずは「**ボンジュール**」と挨拶しよう！

**2024 夏季パリオリンピック・パラリンピック**  
(2024年7月26日～8月11日、8月28日～9月8日)  
の会場としても使用される**コンコルド広場**など



パリ五輪を終えて日本勢は過去最多の金メダル獲得・・・などと健闘を讃えているが（もちろん讃えられるべきだが）、選手の表情で言えば、開会式当日の表情がとても良い。

オリンピックへの道のりの集大成として、自己ベストやメダル獲得の目標、及び意欲・歓び・感謝等に満ちた表情が素晴らしい。この時点では、**自己テーマへの決意と高揚感に清々しさを感じ順位がつく前のイコールさ**を感じた。閉会式は自己目標到達者と未到達者のアンバランスを感じ勝者のセレモニーとなる。



**パリ五輪は理念追求型のオリンピック**と言えよう。理念を打ち出しテーマを設定する。現実（現代）五輪の問題・課題を整理・抽出し近未来の目指すべき五輪の運営・競技進行等に落とし込もうとしたこと自体は評価されるべきだ

(岡村スタイルに近い)。

しかしながら、素敵なコンセプトメイク→チームビルディング→ストーリーテリングによるパリプロミスを打ち出すまでは良かったが、理想と現実のギャップの埋め【**浸透計画**】が思うようにworkしなかったように思う(準備不足だったと思う)。

この事象は、企業再生・事業再生の現場感覚の欠如と類似している。



余談だが、日本人はフランスやパリの文化成熟度・自由度・クリエイティブさ

を過大評価していたが、実際はそうでもなかった・・・的な論評を垣間見る。誤解を恐れず大胆に申し上げると、深くフランスを理解・体感した人間の立場から言えば、過大評価ではなく適正評価だと断言出来る。



ちなみに、マラソンレースを観戦しながら思ったことは、コース選定がパリの名所・景観・歴史を意識した設定になっていたことだ。4~5日間ツアーでのパリ巡りに適していたコースだった。

続いているパラリンピックの熱戦も見逃せない・・・





さあ、立ち上がろう！

夢がなければ、明日はない。明日は夢が造る。

